

# 手織り佐賀錦 「愛光会」

和紙の持つ柔らかな風合いと、金箔、銀箔が絹の美しさに混ざり合っ、華やかで温かみのある輝きを放つ佐賀錦。

バッグやお人形など身近な手工芸品を、心を込めてつくっています。



## 【佐賀錦とは】

江戸中期、佐賀鍋島藩の大奥の女性たちが考案。明治維新の動乱で一時衰退しましたが、佐賀県出身の大隈重信夫人らの手で再興。佐賀鹿島・鍋島家の夫人に師事した毛利家一門の毛利愛子から受け継いだ子息の毛利元博が、研鑽を重ねて現在の佐賀錦を完成させました。

和紙に金・銀の箔を置き、細く裁断したものを経糸（たていと）に使用。緯糸（よこいと）には、色染した絹糸を竹のへらを使って、経糸を丁寧にすくい、織りあげていきます。

教室 新富区民館

日時 毎月第3木曜日 10時～16時

毛利佐賀錦「愛光会」 毛利弥栄子

連絡先:090-3577-9500(前島)

